

一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞 第1回選定委員会

愛知県建設業協会・中部地方整備局

一目でわかる伝わる
工事メッセージ大賞

- 「一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞 第1回選定委員会」を開催しました。
- 選定要領(審査基準含む)・応募要領・今後のスケジュール等について審議を行い、了承されました。
- 看板メッセージ募集中(工事関係者向け 12/18~4/20)。

【開催概要】

日時:令和7年12月17日(水) 17:00~17:30

会場:中部地方整備局 7階DXソーシャルラボ

【出席者・来場者】

・委員4名、関係者2名、報道機関7社

【委員】

(50音順、敬称略)

中日新聞社 記者

小川 涼子

ラジオナビゲータ

小林 拓一郎

愛知県建設業協会 会長

高柳 充広

楣山女学園大学 非常勤講師

西田 かおり(欠席)

中部地方整備局 局長

森本 輝



■ 今後のスケジュール

○令和7年度

12月17日 第1回選定委員会

12月18日 応募開始

○令和8年度

4月20日 応募期限

4月下旬 第2回選定委員会
(授賞対象決定)

5月 表彰式

一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞 第1回選定委員会

愛知県建設業協会・中部地方整備局

一目でわかる伝わる
工事メッセージ大賞

■審査基準

審査項目	配点	審査内容
工事内容	5点	伝えよう・理解してもらおうとしている意志意欲をメッセージから(その情報量も含めて)、それを見る側(地域の皆様側、道路利用者等)が感じられるか
工事目的	5点	伝えよう・理解してもらおうとしている意志意欲をメッセージから(その情報量も含めて)、それを見る側(地域の皆様側、道路利用者等)が感じられるか

ラジオナビゲーター 小林委員



「子ども部門」というと子どもが評価すると誤認する可能性があるので、「子ども向け部門」など子どもがよく通る場所で工事されているからという意図が伝わる部門名にした方が良い。

地域の方々に事業の目的等が伝わっていない、あるいは若い人に建設業の魅力を発信できていないところがあり改善したい。



中部地方整備局長 森本委員



中日新聞記者 小川委員

審査項目の工事の内容と目的の区別が分かりにくい。(事務局より看板実例で説明した承)応募チラシは「一目でわかる伝わる工事メッセージ」の文言の重複を修正した方が良い。

応募されたメッセージの中からお手本になるようなメッセージを称え、愛知県内はもとより東京や全国に横展開していくことによって、建設業界全体の発信力を底上げしたい。



愛知県建設業協会長 高柳委員

■応募対象

- ・愛知県内の中部地方整備局
発注工事の青白看板
(1,100mm × 1,400mm)
- ・応募者は対象工事受注者

■授賞数

- 大賞(金賞) 1点
優秀賞(銀賞) 3点
審査員特別賞 5点
大賞(こども向け部門) 1点